

目 次
〔ロシア地域学科〕
3年

前・後期

実用ロシア語会話（スレイメノヴァ・アイーダ）	P1～2
実用ロシア語文法（鳥飼やよい）	P3～4
ビジネス情報文書の解読（イリイン・ロマン）	P5
ロシア語演習（パドスーシヌィ・ワレリー）	P6
通訳翻訳の演習（イリイン・セルゲイ）	P7
英語（鳥飼やよい）	P8～9
ロシア文学史（スレイメノヴァ・アイーダ）	P10
ロシア史（グラチェンコフ・アンドレイ）	P11～12
体育（高橋厚一）	P13
数学（井上俊一）	P14

後期

ロシア経済（グラチェンコフ・アンドレイ）	P15
----------------------	-----

教科名	実用ロシア語（会話）（前・後期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】スレイメノヴァ・アイーダ
時間数・期間	前期16週4時間・64時間 後期7週4時間・28時間 総92時間	
教科書など	ロシア語の新しい習い方」（第2部）ズラトウスト出版社	
補助教材・参考書など	プリント類（随時）	
学習到達目標：	テキスト・会話パターンを正確に理解して、語彙の増強とともに、コミュニケーション能力育成の観点から、自分の考えを話すことができ、ロシア語力を向上させることを目指す。	
学習上の留意点：	1. 会話には集中して、臨むこと。新しい語彙・文法は確実に覚えてから会話に入ること。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。	
評価方法：	試験、テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	・ガイダンス	
2～3	・運動の動詞 <i>идти-ехать, пойти-поехать</i> . 会話与格：動詞の間接補語と方向. 会話	
4～5	テキスト《教授と女子学生》/テキストの練習問題	
6	ロシア語で手紙を書く/手紙の住所の書き方	
7～8	テキスト《ペーチャの誕生日》/テキストの練習問題	
9	最上級会話	
10～11	テキスト《マールイ劇場について》/テキストの練習問題	
12～13	テキスト《ポリショイ劇場について》/テキストの練習問題	
14～15	前置詞 <i>через-после, перед-во время-после</i> . 会話	
16～17	年月日の表し方. 会話	
18	前置詞 <i>перед, у, от, ...до</i>	
19～20	テキスト《初めてのポリショイ劇場オペラ観劇》/テキストの練習問題	
21～22	テキスト《種子》/テキストの練習問題	
23	必要・義務を表す 会話	
24～25	テキスト《診療所》/テキストの練習問題	
26～27	テキスト《ロシアの偉大な外科医のN.I.ピロゴフ》/テキストの練習問題	
28～29	テキスト《実家への手紙》/テキストの練習問題	
30	会話：《図書館で》、《診療所で》、《競技場で》	
31	まとめ	

32	復習、期末試験への準備
後期	
回	内 容
1～2	第14課 テキスト《レールモントフの一族》/テキストの練習問題
3～4	完了体と不完了体動詞： <i>смотреть-посмотреть, покупать-купить</i> . 会話
5～6	テキスト《文学批評家のビリーンスキー》/テキストの練習問題
7	テキスト《現代のロミオとジュリエット》/テキストの練習問題
8	テキスト《若手スペシャリスト》/テキストの練習問題
9～10	テキスト《貴族寄宿学校でのレールモントフ》/テキストの練習問題
11	テキスト《哲学史より》/テキストの練習問題
12	同意語： <i>пользоваться=иметь, пользоваться=использовать</i> . 会話
13	第15課 性格：「～の所に」、「～に」/会話
14	動詞： <i>просить-попросить, звать-позвать, ждать-подождать</i> / 会話

教科名	実用ロシア語文法（前・後期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】鳥飼やよい
時間数	前期16週4時間・64時間 後期7週4時間・28時間 全92時間	
教科書など	「ロシア語の新しい習い方」（第2部）ズラトウスト出版社、2000年発行	
補助教材 参考書など	「ロシア語の新しい習い方」、同対応基本語彙集、ウラジオストク（極東大学出版局）2004年発行。配布プリント	
学習到達目標：	新たな文法の習得に加え、「話す」「読む」「書く」「聞く」の4つのスキル習得のため、既習の文法を効率的に運用する基礎作りをする。中級文法をおさえて上級文法に備える。	
学習上の留意点：課題提出に加え、家庭学習を怠らないこと。		
評価方法：出席、宿題、セクションテスト、期末試験の各ポイントの総合評価とする。		
出席（10%）宿題（20%）、セクションテスト（30%）期末試験（40%）（後期試験は70%と換算する。）5は90点以上、4は80点以上、3は70点以上とする。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2-3	第13課 【運動動詞の用法】不完了体 ИДТИ, ЕХАТЬ と完了体 ПОЙТИ, ПОЕХАТЬ の現在形と未来形 ПРИЙТИ, ПРИЕХАТЬ の用法 так(ой)、настолько, до того ..., что...の文	
4-6	【与格】ПРИНЕСТИ, ПРИВЕСТИ, ПРИВЕЗТИ の違いと用法。人称・再帰代名詞の与格 形容詞、順序数詞、物主代名詞の与格。状態、年齢の与格	
7-9	【与格】【無人称の文】天気、寒暖の感覚、時間、日付等の表現 与格のニュアンス：ПАМЯТНИК ПУШКИНУ	
10	【与格】必要性：НУЖНЫЙ, НУЖЕН, НУЖНО-НЕОБХОДИМЫЙ, НЕОБХОДИМ, НЕОБХОДИМО	
11-13	【与格】期限、表面 定語の役割、不一致定語（КАКАЯ? ЭКСКУРСИЯ ПО ГОРОДУ）	
14-16	【アスペクト】動作の開始、終了、結果の表現との関係 連続する動作 複数動作の結果 A動作の終わり と B動作の始まり A動作の結果による状態 動詞 СТАТЬ, ПОЙТИ, ПОЕХАТЬ, СЕСТЬ 動作の繰り返し vs. 一回限りの動作	
17-19	【前置詞】文法総復習 【接続表現】	
20	【ロシア人の名前】活用の全て 第13課テスト	
21	第14課 【主部と述部】主語・補語の関係・その逆転 【主部と述部】時制との関係	
22	【主部と述部】ВЕ 動詞、СТАНОВИТЬСЯ、СЧИТАТЬСЯ、ПОКАЗАТЬСЯ、ОКАЗАТЬСЯ、БЫТЬ vs СТАТЬ、 СТАТЬ vs ПЕРЕСТАТЬ 等の動詞と造格	
23	【人称文と不定人称文】 要望、可能性、必然性等の叙法（モード）による主語・述語の変形（造格の用法）	
24	【形式的区分と現実的区分】	

前期	
回	内 容
25-26	【否定表現】二重否定 НИ... НЕТ 【前置詞】原因と結果：БЛАГОДАРЯ と ИЗ-ЗА
27-28	【主部と述部】同意構造の様々 ЕСТЬ, ПРЕДСТАВЛЯТЬ СОБОЙ vs ЗВАТЬ-НАЗЫВАТЬ, НАЗЫВАТЬСЯ 等の動詞とともに
29	理由の表現
30-31	第 13 課総復習
32	第 14 課総復習
後期	
回	内 容
1	第 15 課 【生格】所在の表現、所有の表現 【生格】動詞の目的語の抽象性と具体性による区別
2	【生格】前置詞の復習
3	【アスペクト】 事実の確認、行為の事実 vs 行為の結果
4	【移動の動詞】と【前置詞】 どこで（前置格）、どこへ（対格）、どこから（生格）の関係 【時間表現】と【前置詞】 予定、長さ、実際の長さ表現
5	【複文】 現実的条件（直説法）・可能な条件（仮定法）・非現実的条件（仮定法） 主節と従属節の関係、当地の可能性
6-8	【関係節】格変化する関係詞 КОТОРЫЙ 前置詞の目的語としての関係詞
9	【形容詞短語尾形】衣類・靴と使われる場合の特別な意味 【ОВАТЬ 動詞】不十分、不足、不完全さの表現 【前置詞】ПРИ ОТ-ДО, С-ДО, С-ПО 【同様・同一の表現】ТАКОЙ ЖЕ – ТОТ ЖЕ / ТОТ ЖЕ САМЫЙ, ЧТО И...
10	【数量表現】МНОГО – МНОГИЕ, НЕСКОЛЬКО – НЕКОТОРЫЕ МНОГО vs ОЧЕНЬ (ЛЮБИТЬ, НЕНАВИДЕТЬ, СТРАДАТЬ とともに)
11	まとめ 【生格】у + 生格 と所有の表現 【造格】 【アスペクト】なかった行為、あったが結果のない行為、継続する行為 【程度の表現】НАСТОЛЬКО, ЧТО... / ТАКОЙ, ЧТО...
12	【複文（復習）】目的、条件、譲歩、条件と目的、程度、所属
13-16	第 15 課総復習

教科名	ビジネス情報文書の解読（前・後期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】イリイン・ロマン
時間数・期間	前期16週4時間・64時間 後期7週2時間・14時間 総78時間	
教科書など	1. ロジムキナ他著「ロシア：経済と社会」ズラトウースト社発行、2007年 2. ロジムキナ他著「ロシアの日々」ズラトウースト社発行、2009年 3. 加藤栄一「時事ロシア語」東洋書店、2014年	
補助教材・参考書など	プリント類（随時）	
学習到達目標：	現代ロシアの経済・ビジネス・政治・社会の様々なテーマに関して、まとまったテキストとニュースサイトの記事を正確に理解し、語彙の増強とともに、コミュニケーション能力育成の観点から、内容に関する質疑応答ができ、ロシア語力を向上させることを目指す。	
学習上の留意点：	1. テキストの読解を意識して授業を進める。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。	
評価方法：	試験、テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～3	テキスト1《ロシア連邦安定資金》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ1【内政】	
4～6	テキスト2《証券取引所》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ2【外交・国際関係】	
7～9	テキスト3《ロシアにおける外国銀行》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ3【経済・産業】	
10	テスト1	
11～13	テキスト4《ビッグマック指数》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ4【気象・自然災害】	
14～16	テキスト5《非居住者に対する課税》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ5【軍事・国防】	
17～19	テキスト6《格差の国》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ6【犯罪・司法】	
20	テスト2	
21～23	テキスト7《異例のビジネスプラン》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ7【事故】	
24～27	テキスト8《広告.NET》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ8【市民生活】	
28～31	テキスト9《ロシアー小さな町について》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ9【文化】	
32	まとめ、期末試験への準備	
後期		
	内 容	
1～3	テキスト1《ロシアにおける公共事業改革》テキストの練習問題	
4～5	テキスト2《買い物中毒の人》テキストの練習問題	
6～7	テキスト3《移住民》テキストの練習問題	

教科名	ロシア語演習（前・後期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】 パドスーシヌィ・ワレリー
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 後期7週2時間・14時間 総46時間	
教科書など	「ロシア語の新しい習い方」（第2部）ズラトウスト出版社・2000年発行	
補助教材 参考書など	随時プリント配布 「ロシア語の新しい習い方」（第2部）対応基本語彙集 「ロシア語で聞いて理解し、話しましょう」 ゴディアク・1993年発行	
学習到達目標：様々な場面でのロシア語会話を、正しく聞き取れるようにする。		
学習上の留意点：ロシア語会話での十分な聴き取りができるようにする。 ロシア語を正しく発音できるようにする。 会話中の発音から疑問・質問か、あるいは単なる意見であるのか、その違いを理解できるようにする。		
評価方法：小テスト、中間テスト、期末試験、年末試験		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～5	13課 ①～⑤	
6	第13課 ⑥ 第14課 ①	
7～11	第14課 ②～⑥	
12～15	第15課 ①～④	
16	まとめ	
後期		
回	内 容	
1～7	第15課 ⑤～⑪	

教科名	通訳翻訳の演習（前・後期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】イリイン・セルゲイ
時間数・期間	前期16週6時間・96時間 後期7週4時間・28時間 総124時間	
教科書など	1. イリイン著「通訳論」ロシア極東国立総合大学2006年	
補助教材・参考書など	担当者作成の配布資料	
学習到達目標：	十分な露訳と簡単な和訳ができるようになる。	
<p>学習上の留意点：授業は教科書にそって進めるので教科書を必ず持ってくること。 授業で積極的な態度を示すこと。 学習したことを自宅で十分復習すること。</p>		
<p>評価方法：評価は各期末の計2回の成績の平均とする。各期の合格点は60点以上である。 各期の評価は小テスト20%と試験の80%とする。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～48	ガイダンス 第1課 10月1日 第2課 бонус 第3課 День детей 第4課 Женидьба по любви и женидьба по сватовству 第5課 Рождество 第7課 握り寿司 第8課 選挙とだるま 第12課 正月 第9課 Неделя защиты птиц 第10課 Счастливые и несчастливые числа 第11課 修学旅行 第13課 日本の名所旧跡 第14課 Акира Куросава 第19課 日本人の結婚観 ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。 まとめ	
後期		
回	内 容	
1～2	第22課 День совершеннолетия ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	
3～4	第15課 Чему и как учат в школе ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	
5～6	第16課 長野オリンピック ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	
7～8	第17課アルバイト ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	
9～10	第18課 Современное состояние рлоссийско-японский экономических отношений ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	
11～12	第20課 Всемирный календарь будущего ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	
13～14	第21課 Письмо Татьяны из Москвы ※各課終了ごとに作文のトレーニングをする。	

教科名	英語（前・後期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】鳥飼やよい
時間数・期間	前期16週4時間・64時間 後期7週4時間・28時間 総92時間	
教科書など	INTERACTIONS 2 LISTENING/SPEAKING SILVER EDITION, Judith Tanka, Lida R. Baker, McGraw Hill, 2006.	
補助教材・参考書など	INTERACTIONS 2 SILVER EDITION AUDIOCASSETTES	
学習到達目標：	大学生にとって身近なテーマを取り扱ったレクチャー、インタビュー、スピーチ等を聞く。リスニングでは大意の聞き取り、細部の聞き取り、ノートテイキングの技術を学ぶ。またスピーキングにおいてはパブリックスピーチの組み立て、発表法を学ぶ。同時に英文の構造、表現法、語彙を学ぶ。	
学習上の留意点：		
評価方法：各章ごとに単語・筆記・口頭テストを行う。 最終評価は、宿題10%、出席10%、各課のテスト80%として、その総合点から以下のように決まる。5（88～100%）、4（75～87%）、3（65～74%）、不合格（64%以下）		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	Chapter 7 “Language and Communication” Introduction	
2	Chapter 7 Pre-Listening Conversation	
3～4	Chapter 7 Pre-Listening Exercises	
5	Chapter 7 Taking notes on Lecture “Differences Between British and American English”	
6	Chapter 7 Outlining on Lecture	
7～9	Chapter 7 Lecture	
10	Chapter 7 Preparation for presentation “On Dialects I know”	
11	Chapter 7 Preparation for presentation	
12	Chapter 7 Test & Presentation	
13	Chapter 8 “Tastes and Preferences” Introduction	
14	Chapter 8 Pre-Listening Conversation	
15～16	Chapter 8 Pre-Listening Exercises	
17	Chapter 8 Taking notes on Interview “Generation Y”	
18	Chapter 8 Outlining on Interview	
19～20	Chapter 8 Interview	
21	Chapter 8 Preparation for presentation “On Generations Gap”	

前期	
	内 容
22	Chapter 8 Preparation for presentation
23	Chapter 8 Test & Presentation
24	Chapter 9 “New Frontiers” Introduction
25	Chapter 9 Pre-Listening Conversation
26~27	Chapter 9 Pre-Listening Exercises
28	Chapter 9 Taking note on Lecture “Exploring Mars”
29	Chapter 9 Outlining on Lecture
30	Chapter 9 Test
31	Chapter 9 Lecture
32	Chapter 9 Lecture
後期	
回	内 容
1	Chapter 9 Preparation for presentation “On Planet of My Choice”
2	Chapter 9 Preparation for presentation
3	Chapter 9 Presentation
4	Chapter 10 “Ceremonies” Introduction
5	Chapter 10 Pre-Listening Conversation
6	Chapter 10 Pre-Listening Exercises
7	Chapter 10 Pre-Listening Exercises
8	Chapter 10 Taking notes on Lecture “Water in Traditional Ceremonies”
9	Chapter 10 Outlining on Lecture
10	Chapter 10 Lecture
11	Chapter 10 Lecture
12	Chapter 10 Preparation for presentation “On Ceremony of My Choice”
13	Chapter 10 Preparation for presentation
14	Final Exam Chapter 10 Test & Presentation

教科名	ロシア文学史 (前・後期)	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】 スレイメノヴァ・アイーダ
時間数・期間	前期16週 2時間32時間	後期7週 2時間・14時間 総46時間
教科書など	『はじめて学ぶロシア文学史』藤沼貴、水野忠夫、井桁貞義編、ミネルヴァ書房、2003年	
補助教材・参考書など	各著者の原作からの抜粋(随時プリント類)	
<p>学習到達目標: 19世紀前期のロシア文化における文学の開花の時代、その特徴や特殊性を把握する。文芸的な学習だけでなく、授業中ロシア文学の背景知識と呼ばれるロシア人の生活全般—食べ物から礼儀、習慣言葉から物の見方、考え方、価値観などはビデオを通じて、紹介するつもりである。</p>		
<p>学習上の留意点: ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。授業は教科書(プリント)に沿って進めるので教科書(プリント)を必ずもってくる。授業で積極的な態度を表すこと。授業の最後にメモを書くこと。習ったことを自宅で少しでも復習すること。</p>		
<p>評価方法: 合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1~2	前期の復習。ガイダンス。	
3~4	ロマン主義潮流、デカブリストの運動、文学的団体、ロシア派・西欧派の対立、ジュコヴスキ、クリローフ、グリボエドフ	
3~6	写実主義の確立、典型的な形象、自由思想の弾圧。典型的な形象、国民詩人プーシキンとその著作。『ペーテルキンの物語』。	
7~10	「ロシアの生活の百科事典」としての『エプゲーニイ・オネーギン』、主な主人公、文体の特徴	
11~12	自由思想の弾圧、レールモントフの創造活動、『ペチョーリン』という短編小説集	
13~14	ロシアの詩の「金時代」(プーシキン、レールモントフ、チュッチェフ、フィエート)	
15~16	ゴーゴリ、その作品、批評家ベリンスキー、ゲルツェン、チェルヌイシェフスキー、平民出の作家たち ゴンチャローフの創造活動: 「平凡物語」、「オブローモフ」、「断崖」、紀行文「パラダ軍艦」	
後期		
回	内 容	
1	前期の復讐。ナロドニキ運動、チェルヌイシェフスキーの『何をすべきか』、平民出の作家たち。	
2	純粹芸術の詩人: チュッチェフ、フィエート。平民出の詩人: ネクラソフ。	
3~4	ツルゲーネフの創造活動: 『獵人日記』、『貴族の巢』、『父と子』	
5~6	ドストエフスキーの『罪と罰』、『カラマゾフ兄弟』、『悪霊』、ドストエフスキーの文体。	
7	風刺作家シチェドリン。ロシアの芸術におけるオストロフスキーの役割と国民劇の確立	

教科名	ロシア史（前・後期）	
学年・学科名	3年 ロシア地域学科	【担当教員】グラチェンコフ アンドレイ
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間	後期7週 2時間・14時間 総46時間
教科書など	使用する。	
補助教材・参考書など	適切な参考書を授業中に配布する。	
学習到達目標：	講義の目的は、ロシア語を学ぶため、またロシアに関するさまざまな研究を進めるために欠くことのできないロシア史の基礎知識を身につけることである。古代スラブ世界にはじまり、8世紀、10世紀をへて、12世紀末にいたるまでのロシアの歴史の流れを概観する。具体的には、キエフ国家を中心に、古代ロシアの五百年にわたる政治・経済・文化の歴史を通覧し、キエフ・ルーシという国への理解を深め、あわせて、ルーシと周辺諸国との関係の理解への道を探ることを目的とする。	
学習上の留意点：教科書を使用し、時々、プリントを配布する。またビデオ等の視聴覚教材は利用しないので板書で説明する。授業の進行に合わせて参考書を読んでおくと理解しやすい。質問は授業中、授業後に受ける。出席は毎回とる。		
評価方法：期末に行う筆記試験の成績に出席を加味する。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持込可。ただし試験問題を解くためには、日頃、講義を真面目に受けている必要がある。真面目に授業を受けていれば、試験での不合格を心配することはないであろう。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2	キエフ国家成立 1	東スラブ諸族の世界
3	キエフ国家成立 2	ルーシ族の問題とノルマン説
4	キエフ国家成立 3	イゴリ公と巡回徴貢制
5	キエフ国家成立 4	オリガ妃の改革
6	キエフ国家成立 5	スウヤトスラブ公とハザル国
7	キエフ国家成立 6	聖ウラジミルの政権とギリシャ正教の国教化
8	キエフ国家解体 1	キエフ大公と諸公間関係、大公位を巡る戦い
9	キエフ国家解体 2	キエフ都とノウォゴロド都、北方ルーシの特徴性
10	キエフ国家解体 3	ヤロスラフ賢公とルーシ法典
11	キエフ国家解体 4	ウラジミル・モノマフ政治
12	キエフ国家解体 5	ウラジミル・スズダリ公国の台頭とキエフ公国意義の低下
13	キエフ国家解体 6	キエフ・ルーシの封建制の独特性
14	西方と東方の間に 1	キリスト教の分裂、十字軍の始まり
15	西方と東方の間に 2	ビザンティン帝国滅亡と北方十字軍の始まり
16	西方と東方の間に 3	チンギス・ハンの登場とモンゴル勢力

授 業 項 目

後期	
回	内 容
1	封建分離制
2	封建分離制
3	統一国家形成
4	モスクワ国家の危機
5	17 世紀の経済・社会問題
6	17 世紀のモスクワ国家と周辺諸国
7	17 世紀のモスクワ国家と周辺諸国

教科名	体育（前・後期）		
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】高橋 厚一	
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間 後期7週 2時間・14時間 総46時間		
教科書など	使用しない		
補助教材・参考書など	縄跳び使用各自用意		
学習到達目標：運動の計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を伸長する。			
学習上の留意点：特になし			
評価方法：出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			
授業項目			
前期			
回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション	9	バスケットボール（ゴール型） 4
2	体ほぐしの運動 1 器械運動	10	バスケットボール（ゴール型） 5
3	体ほぐしの運動 2 器械運動	11	バスケットボール（ゴール型） 6
4	体ほぐしの運動 3 持久走	12	バスケットボール（ゴール型） 7
5	体づくりの運動 4 持久走	13	スポンジテニス（ネット型） 1
6	バスケットボール（ゴール型） 1	14	スポンジテニス（ネット型） 2
7	バスケットボール（ゴール型） 2	15	スポンジテニス（ネット型） 3
8	バスケットボール（ゴール型） 3	16	スポンジテニス（ネット型） 4 実技試験
後期			
回	内 容	回	内 容
1	バドミントン（ネット型） 1		
2	バドミントン（ネット型） 2		
3	アイススケート		
4	アイススケート		
5	ダンス 1		
6	ダンス 2		
7	まとめ・実技試験		

教科名	数学（前期）	
学年・学科名	第3学年 ロシア地域学科	【担当教員】 井上 俊一
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 総32時間	
教科書など	随時配布プリント	
補助教材 参考書など	随時配布プリント、スライドショー、ビデオ教材	
学習到達目標	確率及び微分積分に関する基本的知識を学生に与え、日常生活の中でどのような使い方をしているのかを理解させる。	
<p>学習上の留意点：</p> <p>① 高校で履修した内容を深化するとともに、体系的な理解が図れるようにする</p> <p>② 具体的な例を多く取り入れ、どのような考え方にに基づき日常生活で使用されているのかを理解させる</p> <p>③ 問題演習を通じて、実践的な理解の深化を図る。</p>		
<p>評価方法：テスト＝2時間／期末試験の結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含めた総合評価とする。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～4	<p>【 集合・順列・組合せ 】</p> <p>1 ガイダンス 場合の数、集合{部分集合、補集合、共通部分、和集合等}の理解を深める</p> <p>2 集合・補集合の要素の個数、和の法則と積の法則の理解を深める</p> <p>3 順列・順列の応用・重複順列・円順列の理解を深める</p> <p>4 組合せ・組合せの性質・組合せの応用の理解を深める</p>	
5～7	<p>【 確率 】</p> <p>5 確率の意味を理解し確率の計算を行う</p> <p>6 確率の加法定理・余事象の確率を理解し確率を求める</p> <p>7 独立な試行の確率・反復試行の確率、及び、独立・従属の関係を理解し、条件付き確率を求める</p>	
8～10	<p>【 微分 】</p> <p>8 微分の意味の直感的理解を図り、具体的に、導関数、微分係数を求める</p> <p>9 接線の意味を理解し、接線の式を求める</p> <p>10 関数の増加・減少と微分係数の値の変化との関連を理解し、関数のグラフのイメージを持つことができるようにする。</p>	
11～13	<p>【 積分 】</p> <p>11 積分の意味の直感的な理解を図るとともに、関数の不定積分の式を求める。</p> <p>12 関数の定積分の意味を理解し、定積分の値を求める</p> <p>13 定積分により面積や体積が求められることを理解し、面積の値を求める</p>	
14～16	まとめ	

教科名	ロシア経済（後期）	
学年・学科名	3年 ロシア地域学科	【担当教員】 グラチェンコフ・アンドレイ
時間数・期間	後期7週2時間・14時間 総14時間	
教科書など	使用しない	
補助教材・参考書など	適当な参考書を授業に合わせて説明する。講義スライド。	
学習到達目標：	この授業の目的は、ロシアの経済発展を支える経済活動についてマクロ的な観点から国内総生産構造や産業構造や貿易構造等を分析し今後ロシア経済がどの方向に進もうとしているかを展望することを目的とする。	
<p>学習上の留意点：教科書を使用しないので授業に出席するよう努めてほしいと思う。授業を受けるだけでなく、参考書などを利用してさらに自ら研究することが望ましい。教科書を使用しないので、できるだけ板書して説明する。授業の進行に合わせて参考書を読んでおくとう理解しやすいであろう。</p> <p>評価方法：期末に行う筆記試験の成績に出席を加味します。筆記試験は、教科書、自筆ノート、配布プリントの持込可。ただし試験問題を解くためには、日頃、講義を真面目に受けている必要があります。真面目に授業を受けていれば、試験での不合格を心配することはないでしょう。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ロシア経済の特徴 1	
2	ロシア経済の特徴 2	
3	ロシア経済の特徴 3	
4	ロシア経済の特徴 4	
5	主要産業部門 1	
6	主要産業部門 2	
7	主要産業部門 3	
8	主要産業部門 4	
9	農業問題 1	
10	農業問題 2	
11	漁業問題	
12	鉄道問題	
13	対外貿易 1	
14	対外貿易 2	